

GMSは、7月14日の打上げの後、当庁の協力のもとに宇宙開発事業団が行う約3か月間の機能確認試験を経て、定常段階に至り、当庁の用に供される予定である。当庁では定常段階におけるGMSの運用及びデータの利用について、以下のように実施することとしている。なお、これに必要な事項については、昭和51年5月12日の「宇宙開発事業団の開発に係る人工衛星の管理・運用業務の分担及び実施について」の宇宙開発委員会了解に沿って、同事業団と協議を進めている。

1. 計画

当庁では、当庁の地上システムを含めた総合的運用試験及び予備運用を行い、昭和53年から本格的運用に入る予定である。

この段階においては、以下に述べるような地球大気開発計画(GARP)の第一次全球実験(FGGE)への参加協力等の国際的な面、国内気象業務の改善の面を考慮して運用を行う計画である。

(1) GARP・FGGEへの参加協力

GARPのFGGEは、昭和52年9月から昭和54年8月までの2年間にわたって実施される予定で、その前半において世界的な観測、通信、データ処理、解析等のシステムの確立が行われ、後半においては全地球的な観測データのオペレーショナルな収集、処理、解析が行われることになっている。この期間中全世界の気象データが世界気象中核(WMC)及び地域気象中核(RMC)に集積され、数値予報モデルの改良、予報期間の延長等に用いられることになっている。この中で昭和54年は特別観測強化期間(SOP)に当てられ、特に高密度な観測が行われる予定である。

(2) 気象業務の改善

我が国は、太平洋等気象データの少ない地域に用まれ、また台風、その他の異常気象にしばしば襲われており、従来の観測手段で対処するためには限界があるので、気象の観測、予警報等、業務改善の面からGMSの実現が待たれてきたところであり、GMSの本格運用の開始次第、その観測成果を用いることとしている。

また、GMSの観測成果はアジア、オセアニア諸国でも有効に利用することになっている。

2. データの利用

GMSのデータは、以下のよう^にに利用する予定であり、このためGMSは別図のようなスケジュールで運用する予定である。

データ	概要	利用
画像	(1) 可視・赤外の雲画像 (全球、部分拡大、ポラステレオ等) (2) 雲解析図	気象現象の常時監視による予警報業務の改善等
風データ	画像データから求めた高層風データ	数値予報への入力、予報モデルの改善等
海面温度	赤外画像データから求めた海面温度データ	同上及び海況の把握等
雲量分布	画像データから求めた雲量分布データ	長期予報の改善、予報モデルの改善等

このほか、通報局からの気象データも内外の気象業務やFGGEのために用いられる。また、宇宙環境モニタのデータは長期予報の改善等のための一要素として用いられる。

3. 体制

当庁は、GMSのミッション機器の運用を行い、これにより得られるデータを利用するために必要な受信、処理等の体制の整備に努めてきたが、本年4月1日これを一元的に実施する組織として当庁の附属機関である気象衛星センターを発足させた。同センターは、GMSのデータ受信及び伝送等を行う情報伝送部、データの計算機処理及びGMSの運用を行うデータ処理部及び総務部から構成されている。

同センターで処理された気象データは、本庁予報部に伝送され、予警報業務に用いられると共に、風データ等FGGEを推進するために必要なデータは、既設の気象資料自動編集・継システムにより、世界気象同線を経由してWMC及びRMC等との間で交換され、予報モデルの改善等に用いられることとなっており、そのための体制もほぼ完成している。

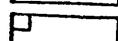
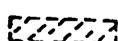
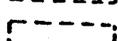
当庁としては、上記の体制のもとにGMS業務を進めることとしているが、気象業務の性質上24時間運用体制を確立している。

以上のよう^にに、当庁のGMS受入れ準備は順調に進んでおり、GMS業務は円滑に進められるものと確信している。また、当庁としてはGMSの開発目的を関係機関の協力により完遂することが必要であると考えている。なお、GMSシステムについては、GMSデータのFGGEその他気象業務への利用を実施した後において、その総合評価がなされるべきものとする。

静止気象衛星 (GMS) 運用スケジュール計画

日本時間	GMT	0	10	20	30	40	50	60
0	15	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
1	16	斜線	赤外	赤外	赤外	赤外	赤外	赤外
2	17	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
3	18	斜線	赤外	赤外	赤外	赤外	赤外	赤外
4	19	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	測距	測距
5	20	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
6	21	斜線	赤外	赤外	赤外	赤外	赤外	赤外
7	22	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
8	23	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
9	24	斜線	可視	可視	可視	可視	可視	可視
10	1	斜線	斜線	斜線	斜線	赤外	測距	測距
11	2	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
12	3	斜線	可視	可視	可視	可視	可視	可視
13	4	斜線	斜線	斜線	斜線	赤外	運高テ	運高テ
14	5	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
15	6	斜線	可視	可視	可視	可視	可視	可視
16	7	斜線	斜線	斜線	斜線	赤外	測距	測距
17	8	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
18	9	斜線	赤外	赤外	赤外	赤外	赤外	低テ
19	10	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
20	11	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
21	12	斜線	赤外	赤外	赤外	赤外	赤外	赤外
22	13	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	測距	測距
23	14	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線

凡例

-  VISSRによる通常観測
-  高分解能ファクシミリ (HR FAX) の送信
-  低分解能ファクシミリ (LR FAX) の送信 7画像
-  VISSRによる臨時観測
-  臨時高分解能ファクシミリ の送信
- 運 ファクシミリ運用情報の送信
- 高テ 高分解能ファクシミリテストパターン の送信
- 低テ 低分解能ファクシミリテストパターン の送信
- 測距 3稜測距